

職場返還制度があるがこれは各事業所単位にて返還義務の有する職員の返還賦金を毎月徴収し、一括して返還する、福島県は教育委員会関係にて40年度より実施また返還免除は次のようなものである。

- ① 死亡、不具、廃疾等により返還能力を失ったときは申請により免除される。
- ② 大学の奨学生であった者が義務教育職に一定限従事した場合
- ③ 大学院の奨学生であったものが、大学や特定の試験所、研究所、文教施設で教育または研究の職に一定限従事した場合
- ④ 特別奨学生であった者が一般貸与と同額の返還金を規定どおり返還した場合その残額を免除される。

(4) 奨学生の補導

本会の事業が国費で営まれているので費学生の成業には社会の期待がかかっているため、全員に自覚させる為、本会と奨学生の関係を単に金銭的のみにとどめず、精神的なつながりを持たせ充実した生活を送るように種々方法によって補導している。これらの方法として「面接、相談、座談会」「学業成績、健康生活状況等の調査」「成績不振者の督励」などを行ない機関誌「育英」を年8回ぐらい発刊している。

また奨学生の外郭組織として卒業した奨学生によって結成された「育英友の会」の全国的な組織があり各支部と一緒に活動している。

日本育英会奨学生と貸与月額表

区分	学校別	採用別	応募学年	貸与月額	募集時期	備考
一般貸与	高等学校	予約	中学第3学年	1,500円	9～10月頃	
	"	通常1次	在学1～3年	"	4月頃	
	"	"2次	"1～2年	"	9月頃	
	高等専門学校	予約	中学第3学年	"	9～10月頃	
大学	"	通常	在学学生	"	年1回適時	
	"	"	"	2,500	"	
特別貸与奨学生	高等学校	予約	中学第3学年	3,000円	5～6月頃	※は自宅外通学者に限る
	高等専門学校	"	"	{※ 3,000 4,500	"	
	大学	"	高校第3学年	{※ 5,000 8,000	"	
	工業教員養成所	"	"	{※ 5,000 8,000	"	

- 注 1 応募は各学校に於いて募集する。
 2 高校奨学生、高校専門奨学生（予約を含む）および大学特別貸与奨学生は学校長を経て支部に出願する。
 3 大学その他は大学の学生課に出願する。

日本育英会高等学校奨学生採用状況

年度	区分	継続貸与	新規貸与						追加採用	合計	総計
			予約採用		1次採用		2次採用				
			応募者	採用者	応募者	採用者	応募者	採用者			
39	一般貸与	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
	特別貸与	1,123	1,161	222	521	130	373	195	5	552	1,675
	計	490	1,489	251						251	741
	計	1,613	2,650	473	521	130	373	195	5	803	2,416

日本育英会予約奨学生採用状況

年度	高校・高専校・候補者				大学・教育奨学生候補者（補欠か一般貸与）										
	一般貸与奨学生		特別貸与奨学生		大学特別貸与奨学生					教育特別貸与奨学生					合計
	応募数	採用数	応募数	採用数	応募数	採用数	補欠	計	応募数	採用数	補欠	計			
39	1,219	247	1,049	282	529	596	183	65	248	279	62	27	89	337	